

1. 管理運営に関する基本的事項

(1) 公の施設の管理に対する基本的考え方



パークマネジメント
マスタープラン
の基本理念に
基づく4つの方針

- 1 都市の魅力を高める公園 公園と地域の両面から都市の魅力を高めます
- 2 高度防災都市を支える公園 防災ネットワーク・ノウハウを活かし、地域防災力を高めます
- 3 生命を育む環境を次世代に継承する公園 東京の生物多様性の向上に貢献します
- 4 豊かな生活の核となる公園 パートナーシップで地域の課題解決に取り組みます

(2) 都立公園の管理における基本理念

本グループの管理運営における基本理念

管理運営の基本理念 **持続可能な社会に貢献する公園づくり**
— 東京の宝物「狭山丘陵」から SATOYAMA を国内外に発信 —

私たちは、これまでの9年間で培ってきたノウハウやネットワークを活かして、里山が持つポテンシャルをさらに鮮明に引き出し、**持続可能な社会に貢献する公園づくり**を進めます。そしてその実現のために、**現代社会が抱える様々な問題を解決しながら取り組む挑戦を「サステナブルチャレンジ」とし**、産官学民の協働で取り組みます。さらに、オリンピック・パラリンピック開催という、またとないチャンスを活かして、**東京の宝物である狭山丘陵から「SATOYAMA」を国内外に広く発信し、レガシーとして長く受け継がれる**取り組みに発展させていきます。



私たちが持つノウハウの活用と役割分担

私たちは、安定した公園管理と社会的・地域的ニーズに柔軟に対応できるコンソーシアムです。各構成員が持つ専門性や特性を活かすとともに代表企業がトータルコーディネートします。



2. 人員配置計画等

(1) 人員配置計画

全体・公園別・部署別の管理運営に基づく配置

- ① 《 全体 》 5公園すべての管理運営を本部で統括する。
- ② 《 公園別管理 》 公園毎に正確・確実・きめ細やかに管理運営を行う。
- ③ 《 部署別管理 》 部署ごとに専門性を発揮して管理運営を行う。

(2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担

24時間365日いつでも対応できる管理体制

- ① 統括管理所（野山北・六道山公園）の設置による効率的かつ効果的な指揮命令体制の構築
- ② 日常の報告連絡相談による東京都や地元自治体、消防や警察等との綿密な連携体制の確立
- ③ 公園管理運営に携わる全員（管理所スタッフ、ボランティア、協力団体等）を対象とした緊急時対応訓練の実施
- ④ 発災時・被災時の現地・本部一体となった安全確保と早期の施設機能復旧

(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上の取組

トータルマネジメント力と専門力のある人材の配置

- ① 公平・平等・安全を基本とした公の視点を持ち、公園管理に必要な知識・姿勢を備えた人材
- ② 公園管理に関わる「人材・資金・情報」をトータルにマネジメントできる経験豊富な人材
- ③ 公園の特性に応じ、多岐にわたる知識・技術を発揮できる「専門力」のある人材
- ④ 「おもてなし」の心もち、明るい笑顔での確かな接遇と対応ができる人材
- ⑤ 地域の資源や情報に詳しく、地域愛のある人材

スタッフの基礎的技術の習得と専門的技術向上

- ① 定期的な研修や視察、OJT等によって、全スタッフに徹底した教育を行い、公園管理運営に必要な専門知識・技術の向上を図ります。
- ② 公園管理運営に携わる団体・個人が情報や技術を共有するため定期的な会議や研修を積極的に行います。

3. 運営管理計画

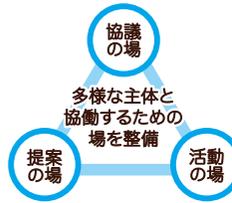
(1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組

多様な主体とのパートナーシップにより様々なニーズに応える公園管理の実施

- ①多様な主体とのパートナーシップで「サステイナブルチャレンジ」に取り組む
- ②多様な主体と協働するための「協議」「提案」「活動」の仕組みの整備
- ③現代社会 8 つの視点から取り組むサステイナブルチャレンジ



多世代が参加する活動



(2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

PDCA マネジメントサイクルに基づく意見の反映と誠実・平等な対応

- ①多様な手段による意見の把握
- ②PDCA 部による分類・類型化
- ③意見への対応（迅速な確認～対応、関係機関等との調整）
- ④対応の報告・公開、マニュアル化、理解促進の取組み

1年の取組みをまとめた「管理運営概要」



(3) 質の高いサービスを提供するための具体的取組

お客様を迎えるサービスの充実

- ①狭山丘陵ならではの「おもてなし」（ホスピタリティ・ユニバーサルデザイン・便利サービス）
- ②立ち寄りたくなる拠点施設のサービス強化（情報・学習・空間）



大島紬でのおもてなし

リピーターや新規顧客を増やすための多様なプログラムと効果的な情報発信

- ①アニバーサリーイベントの開催
- ②公園特性を活かしたプログラムの展開
- ③多様な広報展開による情報提供

年	公園	イベント
平成 28 年	中藤公園	オープニング
平成 29 年	狭山公園	80 周年
平成 30 年	野山北六道山公園	30 周年
平成 31 年	東大和公園	40 周年
平成 32 年	八国山緑地	30 周年



ほんもの体験

(4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業の提案

利用者の満足度の向上、狭山丘陵の活性化、里山文化の普及に貢献する自主事業

- ①スポーツ & アウトドア感覚の里山アクティビティでレジャー & 観光スポット化！
- ②「東京の宝物」狭山丘陵の魅力を発信して地域を活性化！
- ③たくさんの笑顔と感動をしかけて公園を活性化！
- ④里山資源循環 & 企業連携のモデルプログラム化！

自然共生型テーマパーク「T」運営会社との連携



(5) オリンピック・パラリンピックを契機とした公園の魅力向上の取組

ビックイベントの社会的効果を活かした公園の魅力づくり

- ①SATOYAMA を世界に発信する — World SATOYAMA プロジェクト
- ②里山で健康づくりを楽しむ人を増やす — SATOYAMA Healthy プロジェクト
- ③ビッグイベントをみんなで楽しむ — SATOYAMA Dream プロジェクト



M社のスポーツキャラバン

4. 施設維持管理計画

(1) 適切な維持管理を行うための取組

ファシリティマネジメントの考え方に基づいた効率的な維持管理

- ①安全で安心して利用できる施設の提供
- ②中期的視点によるライフサイクルを見据えた計画的な維持管理
- ③アメニティ向上による快適で居心地の良い空間づくり
- ④美しい里山の風景の保全・創出と景観のトータルマネジメント
- ⑤生物多様性向上と資源の有効利用等の推進



狭山丘陵グループが備えるべき5つの品質

(2) 事故及び自然災害、感染症等を未然に防ぐための安全対策、発災時の対応

平常時からの点検・訓練・連携による円滑な対応

- ①施設点検の徹底による予防保全と発災時の迅速な対応
- ②事故や災害発生のシーン毎に想定した備えの充実
- ③各関係機関との連携と情報共有の徹底
- ④地域関係者との防災・安全連絡会開催
- ⑤防災に対する普及啓発
(防災イベント・訓練の開催、防災パンフレットの作成)
- ⑥感染症防止のための情報収集と注意喚起



楽しみながら参加できる防災イベント

(3) 要望やオリンピック・パラリンピックに向けた施設補修、施設改良への取組

広く都民の意見を収集し、民間ならではの柔軟な対応の実施

- ①都民の要望や東京都の要請に適切に対応
- ②優先順位の明確化
- ③オリンピックに向けた事業の前倒し
- ④柔軟な予算配分
- ⑤景観・環境への配慮

利用者から改善要望の多かったトイレの改修



国内外からの来園者に楽しみ満足いただける施設補修・改良の実施

- ①誰もが来園しやすい環境を作る、ユニバーサルアップ事業
- ②拠点施設のおもてなしアップ事業
- ③健康づくりを促進させる、ヘルシーアップ事業



点字ブロック



だれでも里山コース

(4) 丘陵地特性をふまえた植生管理

里山植生を協働により保全する先進的かつ多様な事業の展開

- ①協働による管理体制の継承・発展
- ②東京都の計画に基づいた里山本来の植生の回復・維持
- ③希少種保全を通じた多様な植生の回復
- ④外来種防除による既存植生の保全
- ⑤普及啓発・環境教育の継続実施



協働による外来種防除



オオニガナ